

大学院
(男女共学)

大 学

短期大学部

高等部

中学部

小学部
(男女共学)

幼稚部
(認定こども園・男女共学)



Contents

特集1 【社会貢献活動】… 2~3
アフターコロナにおける学生達の取り組み

特集2 特長あるカリキュラム… 4~5

- 2023年度 学園イベント情報 … 6~7
- 学園各部報告 … 8~10
- 西澤之助と帝国女子専門学校… 11
- 2025年創立125周年記念事業募金… 11
- 同窓会だより/マーガレット募金 … 12



見つめる人になる。 見つける人になる。



相模女子大学

AMPIUS NEWS

特集1

【社会貢献活動】

アフターコロナにおける学生達の取り組み

地域協働活動として福島県本宮市や三重県熊野市への訪問活動や、JAXA宇宙科学研究所や久保田酒造株式会社など地元企業との協働活動を実施しました。昨年度までは新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、様々な制約がありました。今年度より行動制限が緩和されたことで多くの学生が地域に訪問することができました。

地域との協働

◆福島県本宮市

福島県本宮市にて
田植え作業を行いました



5月20日(土)～5月21日(日)の2日間、「もともやSMILEプロジェクト」の学生4名と公募生10名の計14名の学生が福島県本宮市を訪問し、本宮市内での田植え作業に参加しました。

田植え作業のほかにも放射能についての学習や農家民宿の方の手作りの食事を通して、本宮市の食材を堪能しました。今回は初の取り組みとしてフィールドワークを実施し、グループごとに本宮市内の観光地や飲食店を巡り、SNSでの魅力発信に取り組みました。次回は、7月15日(土)～16日(日)の訪問を予定し、本学専用農園マーガレットファームにて農作業体験をします。



歓迎式での集合写真



福島県本宮市内での田植え体験の様子

◆三重県熊野市

柵田・丸山千枚田にて
田植え作業を行いました



5月19日(金)～5月21日(日)の3日間、「丸山千枚田魅力発信プロジェクト」の学生4名と公募生17名の計21名の学生が三重県熊野市を訪問し、柵田・丸山千枚田の田植え活動に参加しました。山の斜面に1,300枚もの水田が連なる丸山千枚田では、農家の高齢化等により20年以上前からオーナー制度が取り入れられていて、本学もオーナーとして保存活動に協力しています。

田植え活動のほかに、日本最古の神社である「花の窟(いわや)神社」や崖壁が美しい「鬼ヶ城」等の世界遺産を訪問したほか、熊野市農林業振興課職員や地域の方々と特産品を活用した新商品についてアイデアの意見交換を行いました。次回は、今回植えた苗を収穫するために9月の「稲刈りの集い」に訪問する予定です。



世界遺産「獅子岩」での集合写真



丸山千枚田での田植え体験の様子

企業等との協働

◆学生がJAXA宇宙科学研究所主催 講演会イベントの運営に携わりました

5月6日(土)、JAXA宇宙科学研究所が主催の講演会イベント「宇宙科学エトセトラーみんなの宇宙深体験パビリオン」に全国各地をフィールドとして社会貢献活動を行う「Sagamiチャレンジプログラム」の学生8名が、イベント内「キッズ向けミニイベント」コーナーで来場者を支援しました。

学生はJAXA職員の方々と協力し、宇

宙をテーマとした子ども向けの絵描き歌やゆるキャラ探し、プロジェクトシヨムマップングなどのミニイベントで、多くの子どもたちを楽しんでもらえるよう、積極的に運営に携わりました。学生たちからは「子どもや保護者の方など幅広い世代の方々と交流ができ、とても良い体験になった。またJAXAの方々との連携イベントがあれば参加したい。」などの好意的な声が聴かれました。



JAXA職員とのオリエンテーションの様子

地域企業との協働

◆学内にて梅酒「翠想」に係わる梅の実を収穫しました

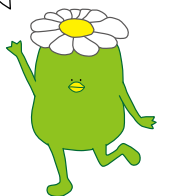
5月26日(金)、5月27日(土)の2日間、梅酒「翠想」に係わる梅の実を収穫しました。今年度は、学生延べ93名と教職員に加えて、2日目は収穫を通して本学の産学連携や特色を体験し感じてもらうことを目的に、オープンキャンパス内のプログラムの一環として、高校生および保護者32名に対しても収穫体験いただきました。高校生・

大学生・教職員が収穫という同じ目的に向かい力を合わせて、楽しみながら和気あいあいと収穫に臨みました。高校生や大学生からは「今回の体験を通して、収穫体験以外にも様々な体験にチャレンジしてみたい」といった前向きな意見がありがとうございました。



梅の実収穫体験の様子

様々な交流が続いているがっば!



特集2 特長あるカリキュラム

● 中学部

教科の枠を超えてさまざまな角度から「命」と向き合い、自分の生き方を考える『マーガレットタイム』という授業を大切にしています。

中学部のマーガレットタイムは「自己肯定感」と「自己実現」を育成テーマに探究的な学びを展開しています。

勉強や部活動、友だち付き合いと、何かと壁にぶつかることが多い中学校生活。将来はまだ遠い存在で、自分が何者になるのかわからないといった、漠然とした不安を抱えています。それでも、人は自分で切り拓いていかなくはなりません。自分の人生を「自分ごと」として踏みしめてほしい。そのとき背中を押してくれるのが「自己肯定感」です。そこで中学部では、命の誕生や人の成長の奇跡を学ぶことで、自分自身も大切に育てられた「かけがえない存在」であることを実感する体験活動を実施しています。

またマーガレットタイムでは、自然の命をいただくこと、理不尽に命を奪う戦争、世界の食料事情や人権など、さまざまな角度から「命」について学びます。社会に目を向け、多くのかけがえのない命とのかかわりのなかで、自律的に自己を肯定し、女性としてどのように生きるかを考え、自分で自分の人生を切り拓く人になってもらいたいと考えています。

3つのテーマを通して命を学び、豊かな感性を育むカリキュラム

● 1年生 「わたし」と出会う

『わたし』と出会う』をテーマに、自分の誕生の奇跡に触れ、自身の存在の尊さを知るとともに、人の多様性に触れ他者を尊重する心を育てます。



障害者体験

● 2年生 「自然」と出会う

『自然』と出会う』をテーマに、林間学校での体験を通じて自然の恵みのありがたさを学ぶとともに、自分たちの身体をつくる「食」のルーツをたどります。わたしたちが「自然の命」をいただいていることを知ること、地球が抱える問題は自分の未来の課題であることに気づき、次の一歩へつなげます。



農業体験

● 3年生 「未来」と出会う

将来の姿を思い描き始める3年生では『未来』と出会う』をテーマに、女性として命を育む可能性を秘めた存在であることを視野に入れ、妊婦体験や赤ちゃんとおふれあう体験をします。女性としてのライフステージを意識することで、自分の生き方を主体的に考える姿勢を育みます。



北里大学の学生との体験授業

マーガレットタイムでは「妊婦体験／離乳食講座」「赤ちゃんふれあい体験」「農業体験／フードロス学習」「平和学習」「多様性を学ぶ」「キャリアデザイン」などの体験学習を展開しています。

障害者の方との共生や食にまつわる社会課題などに目を向ける授業や取り組みなどを通して、多様な人と人とのつながりで構成されている社会の在り方や、自分と社会のつながりを意識し、社会の中で自分の能力や適性をいかに発揮していくかを考えていきます。

また大学生との協働的な活動や企業の出張授業など、様々な体験学習を通して、自分の生き方を主体的に考える姿勢、判断する力の育成を目指しています。

(中学部・堤)

●高等部

2022年度、高等部では進路や将来に応じた4コースに分かれて学ぶ、新カリキュラムがスタートしました。

共通テストを見据えたカリキュラムで国公立や難関私大を目指す「アカデミック」コース、4技能をバランスよく伸ばして実践的な英語力を鍛える「グローバル」コース、理系科目を軸に教科横断的な視点を養う「ライフサイエンス」コース、探究活動に力を入れ、幅広い選択科目で視野を広げる「リベラルアーツ」コース、の4コースです。さらに※MQ（相模女子の「総合的な探究の時間」の呼称）では、官公庁や大使館への訪問、本大学・他大学・地域・社会との連携など、各コースの特色を生かしたイベントが企画されており、主体的・協働的に探究する力を育てます。

（高等部鈴木大伍）

※MQ…Margaret Quest

1年	特進			
2年	アカデミック (文系・理系)	グローバル	ライフサイエンス	リベラルアーツ
3年	アカデミック (文系・理系)	グローバル	ライフサイエンス	リベラルアーツ

個性の伸長と自己実現を支援する4つの進路系統別コース紹介

●アカデミックコース（文系・理系）

国公立大学受験をメインに、難関私立大学受験にも対応。現代社会の課題を広い視野から探究する目を養います。文理融合型の学問にも対応できるように、5教科を中心にバランスよく学びます。難関私立大学志望者には、3教科中心の履修も考慮します。



●グローバルコース

国際系、語学系を中心に、文系3教科を軸としたカリキュラムで学習します。英語については4技能に特化した複数の科目を設置し、現代社会の課題に対して英語で探究・発信できるレベルを目指します。



●ライフサイエンス

従来から志望者の多い医療系・栄養系に加え、農学、環境、メディアなど教科横断的な視点を養いたい生徒に適したコースです。理系分野の探究活動を通じて、社会とつながり、自らの可能性を広げます。



●リベラルアーツ

私立大学文系を中心に、教育、芸術、体育など多様な進路を想定したコースです。本大学や地域、企業と連携した探究活動に取り組み、将来の進路や自分の生き方を模索します。生涯にわたって主体的に学び続ける力や姿勢を養います。



●オープンキャンパス・学校説明会

大学ではオープンキャンパスや入試説明会、併設各部では学校説明会や体験授業など、今後開催予定の学園イベント情報を一挙ご紹介！事前予約制のイベントもありますので、詳細は各部ホームページでご確認の上、お早めにお申し込みください！

大学院 大学 短期大学部 ※HPにて要予約

●オープンキャンパス*

・7月30日(日) 10時～15時 ・8月20日(日) 10時～15時 ・9月18日(月・祝) 12時～15時 ・3月24日(日) 12時～16時
学科紹介 / 体験授業 / 入試制度説明 / 各種個別相談 / キャンパスツアーなど（開催日により内容は異なります。）

●キャンパス見学会 & 入試説明会*

・10月14日(土) 14時～16時 ・12月9日(土) 14時～16時

●公開行事

【相生祭】11月3日(祝・金)、11月4日(土)

●相生祭同時開催個別相談会*

・11月3日(祝・金)、11/4(土) 10時～15時

*日程・実施方法・事前予約の有無等が変更になる場合があります。事前にHPで最新情報をご確認ください。

●WEBオープンキャンパス

自宅にいながら大学・短期大学部の学びの内容を理解できるWEBオープンキャンパスを開催しています。

●個人での学校見学

お友達や保護者の方とゆっくりキャンパス見学ができます。

受付時間

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時30分

日曜日・祝日は休業（ただし正門守衛にてパンフレットを受け取ることができます。）



↑
WEBオープン
キャンパス
詳しくはこちら



【お問合せ】 相模女子大学・相模女子大学短期大学部大学事務部 入試課
●詳細はHPをご覧ください。 www.sagai-wu.ac.jp
フリーダイヤル：0120-816-332 携帯から：042-749-5533
(平日9時～17時、土曜日9時～12時30分) Mail: kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp

高等部

※HPにて要予約

●個別学校案内※

・7月29日(土)～8月26日(土)、平日9時30分～15時/土曜日9時30分～12時30分

*日曜/祝日、特定日を除く

●入試個別相談会※

・12月4日(月) 16時～19時 ・12月5日(火) 16時～19時

●学校説明会・体験授業※

・第1回学校説明会 9月2日(土) 14時～16時

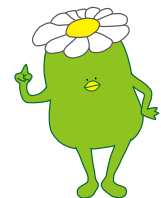
・第2回学校説明会 10月21日(土) 14時～16時

・第3回学校説明会 11月25日(土) 14時～16時

・第4回学校説明会 12月2日(土) 14時～16時

●公開行事

【相生祭】11月3日(金・祝)、11月4日(土)



WEB
オープンスクール
詳しくはこちら→



高等部
学校説明会
公開行事
詳しくはこちら→



【お問合せ】 相模女子大学高等部
TEL：042-742-1442（平日9時～17時、土曜日9時～12時30分）
Mail: kou@mail2.sagami-wu.ac.jp



※予定は変更になる場合があります。事前に各部 HP にて最新情報をご確認ください。

中 学 部

※HP にて要予約

●プチセツ ※

- ・プチセツ 3 9月13日(水)10時～11時
- ・プチセツ 4 12月14日(木)10時～11時
- ・プチセツ 5 1月10日(水)10時～11時

●学校説明会 ※

- ・学校説明会 2 9月30日(土) 9時30分～11時30分

●過去問解説会【小学6年生対象】※

- ・過去問説明会 11月25日(土) 9時30分～12時10分

●プログラミング体験会【小学4、5、6年生対象】※

- ・プログラミング体験会 4 9月16日(土) 9時30分～11時30分
- ・プログラミング体験会 5 10月14日(土) 9時30分～11時30分

●プログラミング入試体験会【小学6年生対象】※

- ・プログラミング入試体験会 1 11月18日(土) 9時30分～11時30分
- ・プログラミング入試体験会 2 12月9日(土) 9時30分～11時30分
- ・プログラミング入試体験会 3 1月20日(土) 9時30分～11時30分

●適性検査型入試体験&説明会【小学6年生対象】※

- ・適性検査型入試体験&説明会 1 9月9日(土) 14時～16時
- ・適性検査型入試体験&説明会 2 11月18日(土) 14時～16時

●ナイト説明会※予約不要

ユニコムプラザさがみはらミーティングルーム 4 (bono 相模大野サウスモール3階)

- ・ナイト説明会 1 10月13日(金) 19時～20時
- ・ナイト説明会 2 11月15日(水) 19時～20時
- ・ナイト説明会 3 12月15日(金) 19時～20時
- ・ナイト説明会 4 1月19日(金) 19時～20時

●学校行事

【相生祭】11月3日(金・祝)、11月4日(土)

【お問合せ】 相模女子大学中学部
TEL : 042-742-1442 (平日9時～17時、土曜日9時～12時30分)
Mail : chu@mail2.sagami-wu.ac.jp

中学部
学校説明会
公開行事
詳しくはこちら→



小 学 部

※HP にて要予約

●ナイト説明会 ※

ユニコムプラザさがみはらセミナールーム 2 (bono 相模大野サウスモール3階)
7月28日(金) 18時～19時

●学校説明会 ※

- ・第3回学校説明会 9月1日(金) 9時20分～12時
- ・第4回学校説明会 9月17日(日) 10時10分～11時40分

●学校説明会【次年度以降受験希望者向け】※

- ・11月28日(火) 9時20分～12時

●「勉強って楽しい」と感じる授業体験 オープンスクール【年長・年中対象】※

- ・7月23日(日) 9時20分～12時

●「勉強って楽しい」と感じる授業体験 ミニオープンスクール ※

- ・8月19日(土)【年長・年中対象】
① 9時～9時40分 ② 9時50分～10時30分
③ 10時40分～11時20分 ④ 11時30分～12時10分
- ・3月23日(土)【年中・年少対象】
① 9時～9時40分 ② 9時50分～10時30分
③ 10時40分～11時20分 ④ 11時30分～12時10分

●学校行事【相生祭】※

・11月3日(金・祝)、4日(土)
幼稚園から大学まで学園全体の学園祭。鼓笛の市
パレードやグラウンドドリル、劇や合唱をご覧いただけます。

●学校行事【造形展】※

・2月10日(土) 9時～15時
園児が参加できるワークショップも開催予定です。

【お問合せ】 相模女子大学小学部
●詳細は HP をご覧ください。 www.sagai-wu.ac.jp/sho/
TEL : 042-742-1444 (平日9時～17時)
Mail : sho@mail2.sagami-wu.ac.jp

*イベント予約・詳細は、
HP「イベント情報」にて
ご確認ください。
*最新情報をメールで
受信することも可能です。



←イベント情報

最新情報
メール配信サービス→



幼 稚 部

※電話にて要予約

●認定こども園相模女子大学幼稚園入園説明会 ※

- ・第2回 9月7日(木) 10時～11時
- ・第3回 10月25日(水) 10時～11時

●入園希望者対象入園前個別相談会 ※

- ・8月29日(火)、30日(水)、31日(木)
*10時30分～15時の間で
1人30分程度を予定しております。

●もも組入会説明会(2歳児対象) ※

- ・9月15日(金) 10時～
*9月7日(木)の幼稚園入園説明会にも必ずご参加ください。

●こんにちは会 ※

- ・9月20日(水)、10月4日(水)、
11月8日(水)、12月13日(水)
1月17日(水)、2月14日(水)、3月6日(水)

【お問合せ】 認定こども園相模女子大学幼稚園部
●詳細は HP をご覧ください。 www.sagai-wu.ac.jp TEL : 042-742-1445 FAX : 042-742-1431

学園各部 報告

学園

風間誠史理事長らが帝国女子専門学校跡地にある碑を訪れ戦災犠牲者を慰霊しました

4月12日(水)、風間誠史理事長をはじめ、田中百子同窓会長、同窓生が本学の前身である「帝国女子専門学校」の跡地(東京都文京区大塚)に建てられた「大塚発祥の地」の碑を訪れ、戦災犠牲者を慰霊しました。

1945年4月13日夜半から14日未明にかけての大空襲により、帝国女子専門学校(現大塚校舎)と学寮は全焼し、学生3名・寮母1名が犠牲となりました。当時の田中義能校長は「校舎は焼けても、学校は焼けない。学校には永遠の命がある。」と教職員や学生を励まし、間もなく拓殖大学の一部を借りて授業を再開しました。

その後、現在の相模原市の旧陸軍通信学校跡地に移転し、相模女子大学として発展しました。

この戦災から78年がたち、この地を訪れ、犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げました。

(総務課)



大塚旧校庭跡地の石碑を訪問「帝国女子専門学校」の跡地である「大塚発祥の地」の碑を訪問

大学院・大学・短期大学部 学修・生活支援課窓口のリニューアル工事

4月初旬、学修・生活支援課窓口のリニューアル工事を行いました。ユニバーサルデザインをコンセプトに生まれ変わった窓口は、「標識があり分かりやすい」「カラフルで明るくなった」と学生や教員より好評をいただいております。

学修・生活支援課では「学生との向き合い方プロジェクト」と銘打ち、全職員が窓口対応の向上を目指した取り組みを行っています。今回のリニューアル工事とあわせて、今後もより利用しやすい窓口環境の実現に向け尽力していきます。



文字はユニバーサルデザインフォントを使用

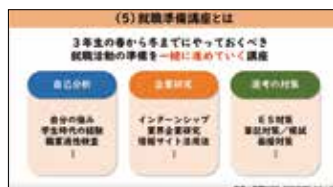


色分け効果で分かりやすく親しみやすい窓口

就職準備講座・企業説明会を実施しました

就職支援課では、大学3年生および短期大学部1年生を対象とした「春学期就職準備講座」、大学4年生および短期大学部2年生を対象とした「企業説明会」を開催しました。「春学期就職準備講座」は、就職活動で必要となる履歴書の書き方講座や業界・企業研究等について、4・7月の毎週木曜日にオンラインで実施しました。また、「企業説明会」は対面で開催し、企業の方から事業内容や採用活動について説明をいただきました。その他、業界や仕事の理解を深める業界ガイダンスや、栄養士・管理栄養士を希望する栄養系学科の学生を対象とした企業説明会を実施しました。どの講座にも多くの学生が参加しました。

秋学期には、「筆記試験対策講座」「秋学期就職準備講座」等を開催予定です。また、地方就職を希望する学生とその保証人を対象とした「地区懇談会」の実施も予定しています。今後も多くの学生の参加を期待しています。



「春学期就職準備講座」オンラインで実施しました



「企業説明会」対面で実施しました

中学部・高等部

交流が深まった新入生歓迎会

5月10日(水)に新入生歓迎会が開催されました。新入生歓迎会は、生徒会主催で企画、運営する行事です。一年生に楽しんでもらうこと、他学年との交流を深めることを目的に様々なゲームを行いました。入学して約一ヶ月の一年生は、まだ少し緊張している様子もありましたが、ゲームの最中は皆いきいきと楽しんでいて、学年を超えてのコミュニケーションが多く見られました。中学部全体が、同じ時間を共有し、楽しんでくれていたようなので、今回の新入生歓迎会を機に、他学年同士でも仲良く学校生活を送れたら嬉しいです。

(生徒会長 佐々木莉紗)



学年を越えて楽しみました



みんな懸命に応援していました

笑顔が溢れ、絆が深まった球技大会

今年度の球技大会は、声を出してお互いに応援しながら仲間の真剣に戦う表情や笑顔をたくさん見ることができたので、充実した二日間になりました。勝つて嬉しかったことだけでなく、負けて悔しかったことなど様々な戦いがあったと思いますが、試合を通じてクラスの中だけでなく、他のクラスや他の学年とも交流をし、絆を深める良い機会になったと思います。

また、委員会活動では、学年を超えて球技大会を盛り上げようと協力し合いながら準備をすることができました。委員会の中でも他学年との交流を図ることができたので、来年度の球技大会もより良いものになるよう期待を込めて、今年度の改善点は後輩達に託したいと思います。全体の成功もそうですが、私は個人的に最後の球技大会で初めてクラスとして優勝することができたので、とても良い思い出になりました。

(球技大会実行委員長 石井天音)



高3実行委員



試合前の円陣

初の5月開催。雨にも負けない熱い戦い

体育祭実行委員長になったことで沢山学んだことがあります。なかでも、一緒に活動をしてきた高等部の委員長・副委員長に凄く影響されました。委員長・副委員長は全体をまとめるのが上手で凄く頼りになる先輩でした。沢山の仕事をこなして凄く頑張っていました。どの行事にもこのように頑張っている人がいるんだと考えると全ての行事を全力で楽しもうと思いました。体育祭を全力で楽しんでありがとうございました。

(中学部 体育祭運営委員長 志岐歩夢)

今年の体育祭は例年より早い開催となったため、昨年度から運営委員12人で準備してきました。

準備期間中は遅くまで活動していても大変でしたが、当日はみんなの笑顔が沢山見れて、運営委員長として体育祭に関わることができて楽しかったです。協力してくれた実行委員・部活動・先生方に心から感謝です！体育祭を最高の思い出にしてくださいありがとうございます！(高等部 体育祭運営委員長 北川裕奈)



駆け抜けろ とつとつフラ太郎 (中学部種目)



騎馬戦 (高等部種目)



仮装行列 優勝 (高3学年種目) ヴァンズワールド

小学部

これぞ小学部！
楽しくてカッコいい小学部運動会・全校演技

5月21日(日)第72回「小学部運動会」を行いました。今年度の運動会は、4年ぶりに元来の運動会プログラムに戻し、観覧人数の制限もなく、より多くの保護者の皆様にご覧いただきました。PTA種目、同窓生種目「シン大玉転がし」、全校綱引きや騎馬戦などの種目も復活しました。

今年もまた伝統の全校演技『全力SAGAMI CLASSIC』を盛大に披露しました。今回は鳴子やポンポンのような手具をあえて持たずに、全身を使ったダンスをしました。前半の高学年のパートは、『私は最強』に合わせたパワフルなダンスを、低学年から始まり全校で踊る後半部分は、『開幕宣言』に合わせたリズムカルでカッコいいダンスをしました。そして、今年はコロナ禍で出来なかった迫力と躍動感を感じられる「組み技」にも挑戦しました。これを相模女子大学小学部の運動会！と胸を張っている全校演技となり、楽しい運動会でした。

(小学部・大熊)



久しぶりにペアジャンプも復活



旗やポンポンを使わず、全身で表現



5.6年生有志による剣舞

おいしいお米を育てるために 代掻きに挑戦

5年生は社会の授業で農業の学習をしており、学内の農園にある田んぼで米作りに挑戦しています。5月下旬田植えの準備として「代掻き」を行いました。水の張っている田んぼに恐る恐る足を踏み入れた子どもたちからは「気持ちいい〜！」「思ってたよりあったかい〜！」という声があがりました。「この辺りの土が固いよ！柔らかくしよう」と声をかけあって、泥んこになりながら皆で協力して土をほぐしました。最初は分離していた水と土がしっかりと混ざりました。「田んぼに入ってみたら楽しかった！」という子どもたちの服は、ダルメシアンのような模様になっていました。6月の中旬には、いよいよ田植えをします。八十八もの工程から成る米作りを実際に体験し、農家の方のお仕事の内容や思いを学んでいきます。

(小勝)



皆で土と水をほぐします



泥んこになって代掻き

色水遊び

認定こども園 幼稚部

年中組に進級し、少しドキドキしていた子どもたちの表情も和らぎ、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ姿が増えています。身近な自然に触れながら、その面白さや不思議さを楽しむ子どもたち。最近では、色水遊びが大人気です。園庭にある桑の実を使って、色水を作っている年長組を見て興味を持った子どもたちは、紫色や赤色の実など、袋いっぱい桑の実を集めていました。水を入れて実をつぶすと、「ブルーベリージュース！」「ぶどうジュースです！」とジュース屋さんごっこが始まることもあります。大切にしてきた色水ですが、少し時間が経つと色が変わってしまいました。すると、「初めは紫で、次は茶色、次は赤になった！」と色の変化に気が付き、友だちとやり取りを楽しむ姿も見られました。自然溢れる環境の中で、次はどのような自然に興味を持ち、様々な遊びに広がっていくのか、とても楽しみです。

(幼稚部 矢野)



桑の実を凍らせてみたよ。いつもと違う感触！



保育室ではクレープ紙を使って虹色ジュースを作ってみたよ！

西澤之助と帝国女子専門学校

1900(明治33)年10月に日本女学校を創設した西澤之助は、「女子教育の確立は急務であり、女学の源流を確立するためには女子大学を設立すべきである」と考え、当時の教育界、学会、官界から134名の賛同を得て、1902(明治35)年8月、「女子大学設立趣意書」を発表し、1908(明治41)年8月、東京市小石川区大塚町70番地(現在の文京区大塚1丁目3番8号)に新たな校舎の建設に着手するなど女子大学設立に向けた準備を始めました。

しかし、文部省からは「大学の名称を用いることは許可できない、名称を変更して再申請すること」との通達が届いたことから、学校名を変更し、再申請を経て当時の女子教育の最高機関である「帝国女子専門学校」の設置が認可されました。当時、私立学校が大学を称することは難しく、特に女子校の大学名称の使用は許されない状況にありました。

こうして西澤之助の大学設立の願いは叶うことなく、1909(明治42)年9月、「帝国女子専門学校」が大塚の新校舎で開校しましたが、「大学」の名称を使用できなかったことや、大塚校舎の交通の便が悪かったことから、次第に入学者が少なくなり学校の経営は厳しくなりました。

日本女学校開校から11年後の1911(明治44)年、西澤之助は校長を辞職し、「女子大学設立趣意書」に賛同した平山成信が2代目の校長に就任しました。



創立者 西澤之助

(アーカイブ室設置準備室)



女子大学設立趣意書



大塚校舎正門と学生(昭和初期)

【参考文献】『相模女子大学六十年史』『相模女子大学八十年史』『校舎は焼けても、学校は焼けない—相模女子大学の110年—』

2025年 創立125周年記念事業募金 *125th Anniversary since 1900*

相模女子大学は、1900(明治33)年創立の日本女学校を起点として、2025(令和7)年に創立125周年を迎えます。『女性の活躍を支援し、地域とともに発展する「開かれた学園へ」』を基本コンセプトとして、地域社会での活躍を支える開かれた学びや、ステークホルダーが集い合う環境整備を行い、地域とともに歴史を刻む開かれたキャンパスづくりを目指し、キャンパス整備事業、周年誌編纂・学園アーカイブ室設置事業、式典・広報事業を柱とした記念事業を展開することといたしました。

この125周年記念事業の趣意をご理解いただき、広くご賛同いただける方から任意の寄付を募り、創立125周年記念事業に係る資金の一部に充当したいと考えておりますので、どうか本学園のさらなる発展、学園で学んできた女性たちの一層の活躍、そして本学園とともに歩んできた地域の活性化のために、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

寄付申込方法等詳細が決まりましたら改めてお知らせさせていただきます。

125周年募金委員長 速水 俊裕



書道との出会い 足立敦子(旧姓 菊地) (平成7年学芸学部国文学科卒)



1993.5.10書道教室棟1階にて 本人：前列右から2番目

2015年の秋学期から、日本語日本文学科の書道科目の非常勤講師として勤務しております。

中学校の教員になりたい一心で国文学科に進学しましたが、学生時代、懸命に取り組んだのは書道でした。当時は7号館の裏手に旧高等部校舎だったという木造二階建ての書道教室棟がありました。梅の木が立ち並びその奥にひっそりと建っていた書道教室棟は、夏でもひんやり静かで時が止まったような場所でした。そこで、個性的な先生方に書道の手ほどきを受けたのですが、今思えば贅沢な学びの時間だったと思います。

現在の書道教室がある11号館が完成したのは4年生の夏です。夏休み、書道科目を受講する4年生が中心となって、書道教室棟からの引っ越しを手伝いました。バイトや就活の合間に、リヤカーや台車で大量の本や用具を運ぶ作業はなぜか楽しく、使命感さえ感じました。健在する道具は今でもあちこちにあって、例えば、1134教室の硯棚は小学部で廃棄された下駄箱を黒く塗り直したもののなのとか。半年間、真新しい畳の香りがする和室を占領し、集大成である卒業制作展の作品作りに没頭できたのも良い

思い出です。そうして密な4年間を一緒に過ごした友人は、何年経っても集まれば一瞬で当時に戻れる一生の友人です。現在、澄心会(主宰・柿木原紫鈴先生)という卒業生の書道展を年1回開催していますが、同級生も数名いて、ともに切磋琢磨しています。

卒業式は1995年3月20日。地下鉄サリン事件当日でした。式は無事執り行われましたが、同年1月には、阪神淡路大震災にも見舞われた波乱の年でした。卒業後は、地元茨城で採用試験に挑戦しながら中学校で講師をしていましたが、数年で断念し、結婚、出産。次男が小学校入学のタイミングで、認定特定非常利活動法人 茨城YMCAの書道教室(小学生対象)の講師と、大学の非常勤講師の仕事のお話をいただき、現在に至ります。ずっと継続していた書道を仕事にできることは不安もありましたが、大変光栄です。これからも、卒業生として、大学に携わる者として、微力ではありますが尽力していく所存です。今や、手も声も使わずに脳内の言葉を文字化するAIの開発が進められている時代ではありますが、あらためて手書きの良さを伝えていけたらと思っています。

ご寄付のお願いとお申込方法について

「マーガレット募金」を以下のとおり実施させていただいております。ご支援いただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。今後ともご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
マーガレット募金委員会委員長 竹下 昌之

	令和5年3月末現在	令和5年5月末現在
マーガレット募金額	64,811,204 円	65,768,462 円

マーガレット募金

募金内容

本学園の継続的な発展を目的とし、平成20年度に開設いたしました。用途について、「学習活動支援」「キャンパス整備」「教育・研究活動支援」よりご支援先を指定いただくことができ、また、「目的を指定しないご寄付」もお受けしております。

この中でも「学習活動支援」については、「大学・短期大学部」「中学部・高等部」「小学部」「幼稚部」と支援対象をより細かく指定することができます。

皆様からいただきましたご支援は、ご指定の使い道に従って有効に活用させていただいております。

お申込方法 (個人の場合)

① お振込(郵便局または銀行窓口) ② 郵送(現金書留)またはご持参 ③ 自動振替での継続
詳細につきましては、大学ホームページ (<https://www.sagami-wu.ac.jp/>) をご覧いただくか、下記事務局までお問い合わせください。

- マーガレット募金 お問合せ先 学校法人相模女子大学 学園事務部 経理課
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL:042-747-9558 FAX:042-749-6500 E-mail:bokin@mail2.sagami-wu.ac.jp
- その他奨学寄付金等のご寄付に関するお問合せ先
相模女子大学・相模女子大学短期大学部 大学事務部 学術研究支援課 TEL:042-747-9570 FAX:042-743-4916